



証券コード：5742

# 第52期 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第52期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

## 経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、様々な世界的不安定要素があるものの、総じて回復基調で推移する状況となりましたが、今年度末にかけて革新的に進化し、変化し続けるフラットパネルディスプレイや半導体の分野においては、一部で短期的な在庫調整局面があった状況下においても、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移しており、装置部門の自動化・省人化装置等についても様々な案件に対して積極的な取り組みを行い、受注を確保いたしました。さらに提案営業の強化、お客様の利便性を高める新製品の開発推進、製造原価低減に向けた生産体制の見直しに取り組んでまいりましたが、原材料及びエネルギー価格の高騰による製造原価の上昇を吸収するまでには至らなかったことから、2022年10月より「アルファフレームシステム」の販売価格の引き上げを初めて実施いたしました。しかしながら、物流逼迫の影響による代替部品調達コストの増加や積極的な設備投資に伴う減価償却費の増加に加え、原材料価格の高止まりによる製造原価への影響は極めて大きく、利益確保が厳しい状況となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は6,661百万円（前期比89.6%）、営業損失は123百万円（前期は営業利益255百万円）、経常損失は93百万円（前期は経常利益267百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は133百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益248百万円）となりました。

## 配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。内部

留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。これらの方針に基づき、1株あたり中間配当金20円、期末配当金21円、年間配当金として41円とさせていただきます。なお、今後とも株主の皆様のご支援に報いるよう、事業の発展に努めてまいります。

## 今後の見通し

世界経済状況は、常に様々な不安要素にさらされており、先行きの不透明感は当面続くものの、昨今の技術革新、特に半導体の飛躍的な進化により、IoT及びAI等々、新たなマーケットが形成され、まさに新しい時代が始まった状況であります。このような状況において、多岐にわたる産業セクターにおいて革新的な自動化・省人化が加速度的に進行しつつあり、今後ますます高度なクリーンルーム及びFA関連機器・装置のニーズが高まることは、当社にとって中長期的に追い風となります。つきましては、今後のより高度なニーズにお応えするため、新経営体制による新組織構築に取り組み、オンリーワンとしての当社の強みを活かし、更なる営業強化を図っております。そして、いつの時代においても当社を取り巻くいかなる厳しい外部環境にも対処することにより、継続的な増収増益を見込んでおります。

以上から、次期の連結業績見通しは、売上高7,100百万円（前期比106.6%）、営業利益142百万円（前期は営業損失123百万円）、経常利益139百万円（前期は経常損失93百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益79百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失133百万円）を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役会長兼社長CEO 西川 浩 司

# Description of Business

## 事業内容

### アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つアルミ構造体モジュール&システム『アルファフレーム®システム』は、多種のアルミニウム合金製フレームとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造物用部材です。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なフレーム、パーツを揃えております。

お客様の効率化を適切にフォローする「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、「ナット付フレーム」などのサービス拡充により、アルファフレーム導入の促進に貢献いたしております。

#### ● アルファフレームの優れた特長

##### ① 充実した製品群

幅広い製品ラインアップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

##### ② 仕様変更等も容易

急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

##### ③ 幅広い分野に適応

機器取付部材の材料、作業台など多彩な分野の工業用品で使用されております。



### 装置部門

新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

「アルファフレーム®システム」を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応した様々な製品開発も行っております。



### 商事部門

工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と工場等の機械設備を提供いたしております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献いたしております。

また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備（生産ライン）の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供いたしております。

## NICトータルソリューション

### 選んで揃えるワンパッケージ！で自動化・省力化を加速

装置メーカーであるNICの技術力から生まれた数々のアルファユニット標準製品と新たなロボット事業の取り組みで、製造業のDXをサポートする『次世代のモノづくり』を提案します。

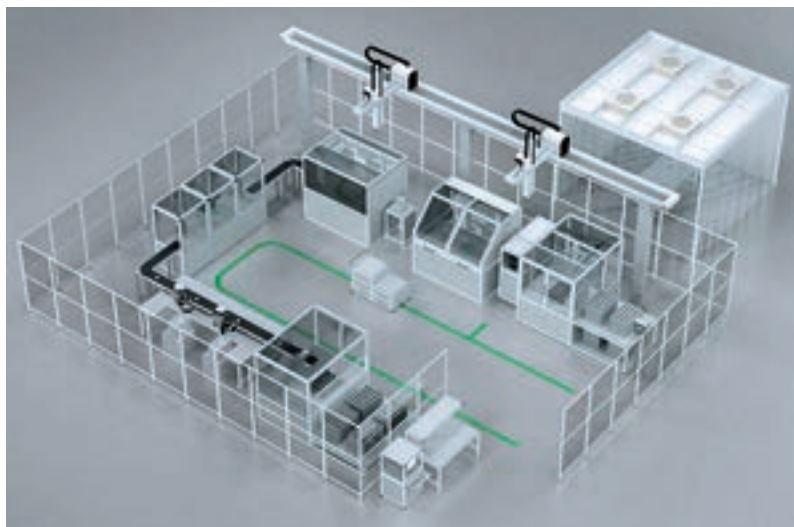
バリエーション  
豊富な  
標準安全柵

メンテナンスが  
容易な  
コンベア

電装・SI機能付  
ロボット架台

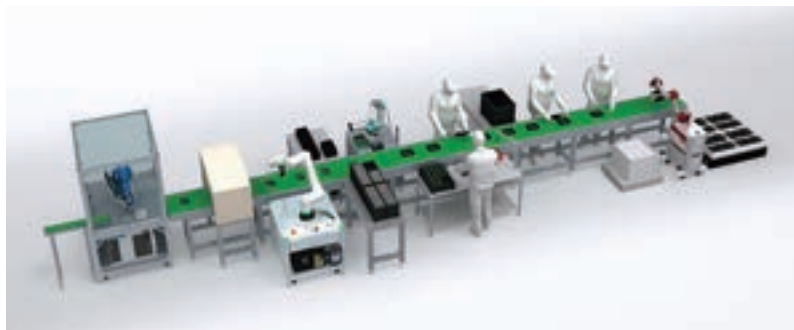
短納期で  
簡単施工  
組立式  
クリーンブース

構想～設計  
組立品納入  
現地据付



### 人とロボットが共に働く環境をスピーディに構築

ロボットが小型化され、人と並んで作業が行える協働ロボットの需要の増加に合わせ、性能と利便性を両立したアルミ製ロボット架台を規格化し販売しています。このロボット架台をはじめとするアルファユニット標準製品とFA技術を融合させ、製造業の自動化・省力化を加速させます。



## 次世代ロボット架台 ロボットの導入、日々の使いやすさを追求

ロボットを導入したいけどセットアップが面倒、操作が難しくて誰でも作業することができない。そんなお困りごとに対し、導入システムインテグレートサポート範囲を既に架台に組み込み、セットアップから日々の運用まで、使う人に優しい機能を付加しています。

### FANUC 新協働ロボット『CRXシリーズ』

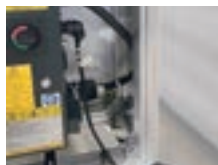
#### 簡単操作パネル

ロボット起動、停止の操作に加え、9つのプログラムが選択可能。



#### 簡単セットアップ

分かりやすい接続端子。工具レスで接続可能。



#### ロボット搭載サポート

ロボットの配線から入電確認、カスタム要望もオプションにて対応。



FANUC  
CRX-10iA, 10iA/L専用

### ロボット導入からライン構築までNIC技術でサポート

- 1 装置メーカーとして培った自動化ノウハウ  
装置製作の豊富な経験を活かした「付加機能」を装備
- 2 開発・実績データによる構造体ノウハウ  
架台の剛性をシンプルに数値化し、最適架台を提案
- 3 ユーザーニーズに応える柔軟な対応力  
システムに合わせてカスタムサポートと付帯設備を提案

各社ロボットメーカーとの共同開発により、品質・安全・信頼性において高い評価をいただいています。



YASKAWA  
MOTOMAN-HC 10DTP専用



FANUC  
CRX-5iA専用



JAKA  
Zu5, Zu7専用



三菱電機  
MELFA ASSISTA専用

**連結貸借対照表** (2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>	
流 動 資 産	3,717,542
固 定 資 産	4,223,283
有 形 固 定 資 産	3,742,822
無 形 固 定 資 産	27,709
投 資 そ の 他 の 資 産	452,751
資 産 合 計	7,940,825
<b>負 債 の 部</b>	
流 動 負 債	1,878,957
固 定 負 債	1,790,227
負 債 合 計	3,669,184
<b>純 資 産 の 部</b>	
株 主 資 本	4,211,785
資 本 金	156,100
資 本 剰 余 金	145,636
利 益 剰 余 金	3,944,840
自 己 株 式	△ 34,791
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	59,819
非 支 配 株 主 持 分	36
純 資 産 合 計	4,271,640
負 債 及 び 純 資 産 合 計	7,940,825

**連結損益計算書** (2022年4月1日～2023年3月31日) (単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	6,661,561
売 上 原 価	5,552,297
売 上 総 利 益	1,109,264
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,232,412
営 業 損 失	△ 123,148
営 業 外 収 益	37,619
営 業 外 費 用	7,703
経 常 損 失	△ 93,232
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失	△ 93,232
法 人 税 等	40,735
当 期 純 損 失	△ 133,968
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失	△ 0
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失	△ 133,968

**連結株主資本等変動計算書** (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本					そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			非 支 配 分 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当 期 首 残 高	156,100	145,636	4,302,199	△ 34,791	4,569,144	47,450	22,879	70,329	32	4,639,506
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△ 223,390		△ 223,390					△ 223,390
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失			△ 133,968		△ 133,968					△ 133,968
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)						△ 7,049	△ 3,461	△ 10,510	3	△ 10,507
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額 合 計	—	—	△ 357,359	—	△ 357,359	△ 7,049	△ 3,461	△ 10,510	3	△ 367,866
当 期 末 残 高	156,100	145,636	3,944,840	△ 34,791	4,211,785	40,401	19,417	59,819	36	4,271,640



## 会社の概要 (2023年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	連結240名
事業所	
本社 / 流杉工場	富山県富山市流杉255番地
東京本社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
立山第1工場	富山県中新川郡立山町塚越398番地176
立山第2工場	富山県中新川郡立山町前沢2178番地1
立山第3工場	富山県中新川郡立山町利田161番地
愛知事業所	愛知県清須市清洲田中町167番地
アルファフレーム北関東	埼玉県児玉郡神川町元阿保309番地
アルファフレーム関西	大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号
アルファフレーム九州	福岡県大牟田市四箇新町一丁目2番地
海外子会社	
	NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd. タイ王国バンコク都 (清算手続き中)

## 役員構成 (2023年6月24日現在)

代表取締役会長兼社長CEO	西川浩司
取締役副社長執行役員CTO	野村良一
取締役副社長執行役員	新夕秀典
取締役常務執行役員	猿田崇
取締役常務執行役員	山崎克己
取締役相談役	西川重子
社外取締役	伴基
常勤社外監査役	横溝和久
社外監査役	白石康広
社外監査役	吉田泰三

## 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ  
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号  
丸の内二重橋ビルディング

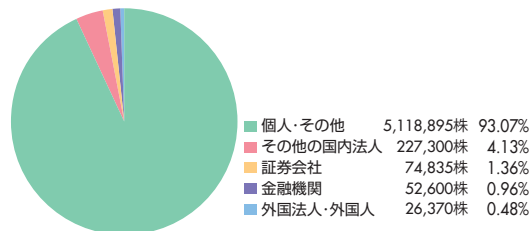
## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株  
(自己株式51,446株を含む)
- (3) 株主数 2,797名
- (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	100,000株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	98,800株
大野新司	96,000株
近藤雅介	81,400株
ガイドー株式会社	70,000株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株
水間隆二	36,200株

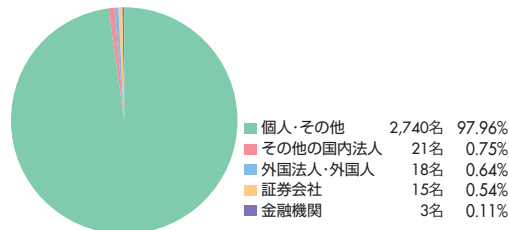
(注) 上記大株主のほか、当社は自己株式51,446株を保有しております。

## (5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,446株は、「個人・その他」に含まれております。

## (6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード	5742
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.nic-inc.co.jp/">https://www.nic-inc.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由により電子 公告によることができないときは、日本経済新聞 に掲載いたします。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 照会先受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日及び12/31～1/3を除く)
個人のお客様/株式に関する手続き	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
(株式に関するよくあるご質問(Q&A))	<a href="https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal">https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal</a>

## 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

## ■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

<https://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<https://ssl.nic-direct.jp/>

